

ケーススタディ：ZRP 印刷グループ（中国）

XGAMUT を使用して特色インキを使用しないでスポットカラーを印刷

ZRP Printing Group Co.Ltd.は、中国でトップ 20 の印刷会社のひとつであり、世界最大のマンローラユーザーです。同社は 1978 年に設立され、現在中国に 4 つの生産拠点があります。グループ最大の工場は、面積が 10 万平米あります。

グループは約 3000 人の従業員と 120 のブランドや顧客を持っています。顧客の多くは、FMCG（Fast Moving Consumer Goods：消費者向け低価格日曜消費財製品）ブランドの一部です。

ZRP はオフセット市場に重点を置いてきましたが、現在、デジタルおよびフレキシソ印刷事業を拡大しています。彼らはカスタマイズされた業界ソリューションに特化しており、プロモーションツールやスマート e コマースソリューションだけでなく、いくつかの素材に優れた仕上げを施した高品質の消費者向けパッケージ製品を製造しています。ZRP は、Global Packaging Alliance（GPA）のメンバーです。



スポットカラーとブランドカラーは、グローバルプレーヤーと ZRP が製造協力している多国籍企業にとって非常に重要です。ユニークなスポットカラーは注目を集め、強力なブラン

ド価値を確立するのに役立ちます。さらに、インテリジェントなカスタムソリューションや販促資料の需要が高まっているだけでなく、食品包装やその他個別のキャンペーンでの特殊効果も求められています。有名なクッキーブランドのために実施されたプロジェクトの1つでは、顧客は製品をオンラインでカスタマイズし、配送ルートを追跡することができました。

2004年、CGS ORISはZRPと協力して、顧客の要件に合わせた個別のソリューションを提供するシステムを構築しました。当初、ZRPはCOLORTUNERを使用して個々の顧客向けにプルーフシステムを構築しました。その後、デジタル印刷に多額の投資を行った後、彼らは新しいCGS製品XGAMUTを使用することを決定しました。

多国籍消費財企業との大規模なプロジェクトで、XGAMUTの大きな力が発揮されました。ZRPは、XGAMUTの新しいマルチチャネル機能を使用して、消臭剤パッケージサンプルで使用される13のスポットカラーを含むPDFをインポートし、視覚的なブランドアイデンティティを完全に維持しながら、印刷機の固定インキセットCMYK、オレンジ、グリーン、およびバイオレットに再分版したPDFを生成し、8色印刷機で生産しました。

インク交換、ジョブ切り替え、プレスウォッシュアップ、プレスダウンタイムの短縮による大幅な時間の節約と、同じ紙面上に異なるスポットカラーを含むジョブを印刷できることによる柔軟性の向上など、これらすべてから得られたメリットは計り知れません。

その結果、ZRPは生産と納期を短縮し、全体的な生産性を向上させることができました。これにより、より多くの顧客に、より競争力のある価格でサービスを提供できるようになりました。最後に、特色インキの消費量が減り、保管するインキが減り、インキの無駄が減るため、コストを大幅に削減できます。これらすべてにより、お客様は利益を最大化することができました。

このプロジェクトとテスト中に行われた計算により、ZRPは、2017年上半期に合計印刷時間376時間、インキコストの20%、印刷コストRMB 370,000（約660万円）を節約できたことが示されました。つまり、1つの印刷プロジェクトで生産性をほぼ50%向上させることが出来たと言えます。

（写真提供者：ZRP / CGS ORIS）